

令和 4年度

事務事業評価表（ 令和 3年度 の実績評価）

記入年月日
令和 4 年 4 月 1 日

事務事業名		茨城県公共交通活性化会議参画事業				事業区分		担当	
						新規/継続 単独/補助	継続 単独	事務事業No.	050401000296
政策体系上の位置付け									
政策体系	総合計画の施策名	0504 公共交通の充実				所属課			
	政策名	05 快適な暮らしのまちづくり				060201 都市整備課			
	施策名	04 公共交通の充実				課長名			
	手段名	01 ①公共交通網の整備				グループ 担当者名			
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計 単年度繰返し（平成17年度～）		
	01	08	04	01	07	00	公共交通事業		
法令根拠						期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

手 段	①事務事業の概要（事務事業の全体像）		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順				
	茨城県及び県内44市町村、16の交通事業者、26の関連機関及び地域団体が、公共交通に関する地域の課題について、その対策の検討・推進を協議し、実情に即した対策を講じるため、調査・研究、会議を実施する。		<ul style="list-style-type: none"> ・総会・協議会への参画。 ・研究会、シンポジウムへの参画。 ・キャンペーン（ノーマイカーデー等）の実施。 ・負担金の支払い 				

（2）事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段（担当者の活動内容）	④活動指標（活動量を表す指標）	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<ul style="list-style-type: none"> ・総会・協議会への参画。 ・研究会、シンポジウムへの参画。 ・キャンペーン（ノーマイカーデー等）の実施。 ・負担金の支払い 	総会・協議会の開催回数	回	4.00	1.00	3.00	3.00	3.00
	研究会・シンポジウムの開催回数	回	1.00	3.00	2.00	2.00	2.00
	キャンペーンの実施回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
市民	市民人口	人	39,122.00	38,422.00	37,852.00	37,282.00	36,712.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
公共交通を利用してもらう。	公共交通を利用している市民の割合	%	5.70	15.00	15.00	15.00	15.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

（3）投入量（事業費）の推移		02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	期間限定 総投入量
		(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
投 入 量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	20	20	20	
		事業費計（A）	千円	20	20	20	
		正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	

03年度事業費 実績（千円）			04年度事業費 予算（千円）		
18 負担金補助及び交付金	20		18 負担金補助及び交付金	20	
合 計		20	合 計		20

事務事業名	茨城県公共交通活性化会議参画事業	事務事業No.	50401000296	所属課	都市整備課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 不採算の路線バスや鉄道の廃止、タクシー事業者の事業縮小や廃業に伴い、生活交通の維持・確保が重要な課題となってきたことから、公共交通の活性化を推進するため、地域の課題を明確化し、実情に即した対策を講じることを目的として設置された。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 域内の公共交通の充実と、新たな公共交通手段の確立が望まれている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 地域公共交通を活性化させ、それを維持・確保することは、政策上の重要課題となっており、政策体系と整合している。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 多くの市民生活に影響を与える公共交通に関する取り組みであることから、妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 本事業で対応できる内容は既存の公共交通に関するソフト事業であり、そもそも本市では公共交通機関の整備が不十分のため、現状では向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 茨城県や県内の市町村・交通事業者、地域代表が一堂に会して公共交通問題を協議する場を失う。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない すでに県全体で連携しているため向上の余地はない
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費は負担金のみであり、また協議会で調整された金額であるから、削減は困難である。また、最低限の人員で対応しており、削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 多くの市民生活に影響を与える公共交通に関する取り組みであることから、適正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																											
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	活性化会議主催のコミュニティバスの標準的な運行情報フォーマット(GTFS)作成講習会に参加し、データ作成・維持管理の方法について学んだ。																											
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下	維持		×	×	低下		×	×
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上																												
	維持		○	×																									
低下	維持		×	×																									
	低下		×	×																									
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																											
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤																											

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>